

入門ポルトガル語講座

日時：2026年6月18日～7月16日 木曜日 10:00～12:00 全5回

場所：につしんマスプロ市民会館 3階大会議室（最終日のみ2階大会議室）

講師：ダ・モダ・ヴァスコンセロス・テイセイラ・レオナルド 先生

学習者：14名

内容：アルファベットの発音や文法、挨拶の言葉など、基礎的なポルトガル語の学習。

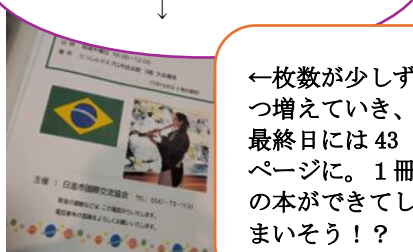
ポルトガル語がブラジルの公用語とされた歴史的背景の解説と、言語学的観点からみたポルトガル語の現在・未来の考察。

他国語を学ぶことはその国の文化や歴史と触れあうこと。歴史の中で人々が進化するように、言語も成長します。みなさんが講座で学んだ、文字や発音などの基礎知識が、自らの学びを深める手助けとなり、「文化に潜る冒険」に繋がることを願っています。

毎回、丁寧にポルトガル語の解説をしてくださった、熱意溢れる講師のレオナルド先生。音楽や料理に水泳、日本語を始め他の多くの言語にも造詣深く、大学時代の専攻はなんと宇宙物理学。その多才さに驚きでした。とても流暢な日本語を話すことができる理由をお聞きしたところ、「日本と日本語が大好きだから学ぶのが楽しくて」という答えが返ってきました。にっこりと人懐こい笑顔がたいへん印象的なレオナルド先生でした。



日本語で説明文が書かれたお手製のテキスト



←枚数が少しずつ増えていき、最終日には43ページに。1冊の本ができてしまいそう！？



Bon dia !

今回、初の実施となった「ポルトガル語講座」。

日本在住の外国人としては5番目に多く、日本人にとって身近な存在であるブラジル人の話す言語とあって、多くの受講生の参加がありました。原住民やヨーロッパ人、アフリカ人など、多くの民族のルーツを有する広大なブラジルの地理と歴史、またそれらの人々の交流を可能にするためにポルトガル語が公用語とされた背景など、スライドやたくさんの資料を使った解説に皆興味津々に聞き入っていました。

「これからポルトガル語にふれるときに、簡単なものを自分で読んだり書いたりすることができるようになって欲しい、または独学するときの基本となる知識を伝えたい」とのレオナルド先生の強い思いから、授業はアルファベットの発音や音節（音の最小限のまとまり）の組み合わせと読み方の学習や、実際使われている言葉の紹介が中心となりました。



発音が違うと意味がガラッと変わってしまう言葉がたくさんありますから、正しい発音を知ることとはとても大事ですね。

ポルトガル語特有の発音や単語は決して易しいものではありませんが、言葉にまつわる面白いエピソードを聞いたり、何度も声に出して練習したりしたので、楽しみながらテキストの最後のページまで進むことができました。最終日には、既に来年度の講座の開催について問い合わせる受講生の姿が見られたほどに、ポルトガル語への興味を大いにかき立てられた5日間でした。